



2022年10月28日

各 位

会 社 名 第一稀元素化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 國部 洋
(コード番号：4082 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員 管理本部長 寺田 忠史
TEL. (06) 6206-3311

業績予想及び配当予想の修正並びに営業外収益（為替差益）及び
営業外費用（貸倒引当金繰入額）の計上に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたします。

また、2023年3月期第2四半期において、営業外収益（為替差益）及び営業外費用（貸倒引当金繰入額）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	16,700	2,700	2,700	1,900	78.23
今回修正予想 (B)	16,900	3,440	5,240	3,460	142.40
増減額 (B-A)	200	740	2,540	1,560	—
増減率 (%)	1.2	27.4	94.1	82.1	—
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	14,765	2,094	2,925	2,205	90.83

(2) 通期（2022年4月1日～2023年3月31日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	34,500	4,800	4,800	3,900	160.58
今回修正予想 (B)	36,200	5,100	5,500	4,100	168.73
増減額 (B-A)	1,700	300	700	200	—
増減率 (%)	4.9	6.3	14.6	5.1	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期通期)	29,365	3,768	6,000	1,849	76.15

(業績予想修正の理由)

当第2四半期累計期間につきまして、当社グループの主要顧客である自動車業界では、サプライチェーン混乱の影響を受けて自動車の販売台数は回復しておらず、その影響を受け当社グループの販売数量は計画を下回りました。一方で、為替影響を含む原料価格が上昇しており、大半は販売単価に転嫁しました。それらの結果、売上高は概ね前回発表予想通りとなりました。営業利益は、昨年度に戦略的に積み増しを行った在庫（原料市況や円安の影響を受けていない安価在庫）の消費を推進したことによる売上原価低下の影響等により、前回発表予想を上回る見込みです。さらに、ベトナム子会社への外貨建貸付の未実現為替差益の計上等により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想を大きく上回る見通しです。

通期の連結業績予想につきまして、販売数量は引き続き部材不足による世界的な自動車減産の影響を受け減少する見通しです。また、販売単価は為替設定レートの変更により上昇する想定です。それらの結果、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。利益は、販売数量の減少、物流コストの上昇等による販売費及び一般管理費の増加等により、前回発表予想からの増加額は1. (2) 表の通りとなります。

なお、通期業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル131円を前提としております。

2. 配当予想の修正について

2023年3月期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	16.00	—	16.00	32.00
今回修正予想	—	18.00	—	16.00	34.00
当期実績	—				
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	—	13.00	—	10.00	23.00

(配当予想修正の理由)

当社の利益配分についての考え方は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。

2023年3月期中間期末を基準日とする中間配当につきましては、今回の第2四半期累計期間の業績予想修正を踏まえ、利益配分の方針、財務体質の状況等を総合的に勘案し、1株当たり16円から18円へ修正します。

3. 営業外収益（為替差益）及び営業外費用（貸倒引当金繰入額）の内容

2023年3月期第2四半期累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日）の外国為替相場の変動に伴い、為替差益3,010百万円を計上する見込みです。これは、当社が保有する外貨建資産・負債に対し発生したものであり、主な内訳としてはベトナム子会社への貸付1,885百万円、売掛債権840百万円であります。今後の為替相場の状況によりこの金額は変動いたします。

また、為替差益のうち未収入金に係る為替差益を738百万円計上する見込みです。その同額を営業外費用（貸倒引当金繰入額738百万円）として計上いたします。加えて、外貨建貸付金に係る為替変動リスクに対するヘッジを目的としたデリバティブ取引を行っており、営業外費用（デリバティブ評価損）444百万円を計上する見込みです。それらの結果、実質的な為替差益は1,827百万円となります。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した前提に基づいて作成したものであり、実際の業績につきましては様々な要因の変化により、予想数値と異なる場合があります。

以上